



## 課題 1 - 1 生きものと共生する千葉県を目指そう

最適な実施季節：春～夏

### 生きものマップづくりについての学習のポイント

- 1 環境の違う場所どうしを比較して調べる。  
例：校庭の日当たりのよい場所と日陰，車の交通量の多い場所と少ない場所など
- 2 季節や年を変えて，継続的に調べてみる。  
生徒たちが作った地図は貴重な周辺環境調査の資料である。季節や年を変えて，同じ調査を行い，それを比較することで，より多くのことを知ることができる。
- 3 自分たちのマップの中に，外来種がいるかどうかを調べる。

### わたしたちのレッドデータブック作りについての学習のポイント

- 1 千葉県は，気候も温暖で，様々な生物の北限や南限が重なる豊かな自然環境にある。  
昔からその自然の恩恵を受けてくらししてきた人と，ともに生きてきた動植物の存在について気づき，共生しようとする意識や郷土を大切にしようとする気持ちを高める学習にしたい。
- 2 学校内・通学路または学区でみかけた生物を発表し合い，マップに表すことで，多くの生物が身のまわりに生きていることを実感させたい。そして，多くの生命と共存していく意義を考えさせる。
- 3 生物の生きるための工夫や適した環境について話し合うことを通して，特に減少の著しい生物を選定する。そして，選定した生物について調べ，地域版のレッドデータブックづくりを行い，友人や近隣の学校とお互い情報を交換し，発信したい。また生態系や地域の環境保全について話し合い，野生生物の保護のために何ができるか考える。
- 4 環境省や千葉県で刊行されているレッドデータブックのリストを参考にし，地域に生息する生物の希少性を調べると，絶滅の恐れのある生物と共生している実感を持てるようになり，生物多様性保全への実践的な意欲に結びつくと考えられる。

### 発展 飼育観察してみる

個別あるいはグループで生物の飼育・観察をするのも理解の助けになる。

※飼育観察が終わった生物は，元の場所に戻す。

### このような生物もレッドデータブックに載っています。みつけてみよう！



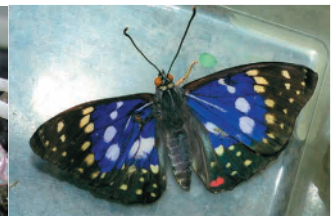
カタクリ  
(ユリ科 重要保護生物)



ミクリ  
(ミクリ科 要保護生物)



サワガニ  
(サワガニ科 要保護生物)



オオムラサキ  
(タテハチョウ科 重要保護生物)



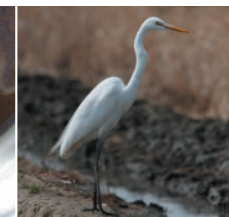
ホトケドジョウ  
(ドジョウ科 要保護生物)



アカハライモリ  
(イモリ科 最重要保護生物)



トウキョウダルマガエル  
(アカガエル科 重要保護生物)



ダイサギ  
(サギ科 要保護生物)